

登米市次世代育成支援行動計画を策定

市では、「子どもと子育て家族をみんなで支えるまち・安心して子育てができるまち・登米」の実現を目指し、平成22年度から平成26年度までの5年間の「登米市次世代育成支援行動計画」(後期計画)を策定しました。その計画の概要について広く市民の皆さんにお知らせします。

次世代育成支援行動計画(後期計画)の概要

取り組みを進めていきます。

政がともに手を取り合い児童・生徒を支えていきます。

に、企業における両立支援など、家庭、地域、事業所における取り組みを進めます。

⑧ 要保護児童への適切な対応

児童虐待から子どもの生命・身体を守るため、要保護児童対策地域協議会を中心に、地域とともに、被害に遭った子どもと保護者を支援する体制づくりを進めます。

また、障がい児の受け入れ体制を充実し、障がいのある子どもたちに対する多様なサービスの提供に努めます。

【問い合わせ】

福祉事務所子育て支援課
☎0220(58)5562

③ 母と子の健やかな暮らしづくり

妊娠・出産・育児の各ステップにおいて、細やかな子育て支援を行い、子どもの健やかな成長を支援します。

公園や集会施設など公共施設のバリアフリー化を進めるとともに、誰もが利用しやすいようにユニバーサルデザインを取り入れ、子育て家庭に優しい安全・安心のまちづくりを進めます。

⑦ 子どもたちを危険から守るまちづくり

子どもを事件・事故から守るため、関係機関団体との連携や情報の共有を行い、防犯活動の充実を努めます。

また、市民バスなど公共交通機関の運行については、子どもや高齢者などに配慮し利用しやすい運行を目指します。

⑥ 子どもと仕事の両立を支援するまちづくり

核家族化の進行や女性の社会進出などにより、結婚・出産後も働きつづける女性が増え、保育に対するニーズも多様化しています。

④ いきいきとした楽しい学びの環境づくり

子どもが個性豊かに生きる力を伸ばすことができるよう、地域の人材を活用した「生きる力」を育成していきます。

また、スポーツを通じた体づくりや、さまざまな学習機会の充実など、健やかな成長を支援します。

② 子どもの成長と自立を支えるまちづくり

社会環境の変化や価値観の多様化などから、社会や将来に不安を抱く若者が増えています。

次世代の社会を築く若者が自信を持って自立し、結婚や子育てができるように、登米市青少年育成推進行動会議を中心に、健全育成を目指した

① 地域 みんなで支える子育て家族

子育て世代の孤立化を防ぎ、子どもたちが地域への愛着を深められるようにするためには、地域社会全体が連携し、それぞれの役割を担っていくことが重要です。

市では地域社会全体で支援体制を充実した保育サービスの提供を行っていきます。

また、小児の疾病予防対策を積極的にを行い、各医療機関の連携と機能分担を進め、安心して産み、育てることができ環境基盤をつくります。

また、市民バスなど公共交通機関の運行については、子どもや高齢者などに配慮し利用しやすい運行を目指します。

⑤ 子育てしやすい生活環境づくり

また、市民バスなど公共交通機関の運行については、子どもや高齢者などに配慮し利用しやすい運行を目指します。

また、市民バスなど公共交通機関の運行については、子どもや高齢者などに配慮し利用しやすい運行を目指します。

子どもが個性豊かに生きる力を伸ばすことができるよう、地域の人材を活用した「生きる力」を育成していきます。

また、市民バスなど公共交通機関の運行については、子どもや高齢者などに配慮し利用しやすい運行を目指します。

◆豊かな夢のある登米市を目指して

地域次世代リーダー養成講座受講生募集および登米市の未来新聞コンクール開催のお知らせ

◇地域次世代リーダー養成講座

市民活動や地域づくりを担う人材の育成を目的とした講座を開催します。

【期間】 8月～平成23年3月 ※月1回程度の10講座 【時間】 平日夜間・日曜日は日中を予定(1講座2時間程度)

【場所】 迫公民館ほか

【内容】 地域づくりに関する基礎知識や実践方法を、講座などを通して学びます。また、受講生同士の交流やネットワークづくりを進めながら、これからの地域づくりを一緒に考えていきます。

【定員】 27人(各町域3人程度) 【受講料】 無料(交通費、昼食、演習に必要な教材費は自己負担)

【申込資格】 ①市内在住の20～50歳までの人 ②市民活動や地域づくりに意欲のある人 ③全講座受講可能な人

【申込方法】 各総合支所地域生活課に備え付けの申込書(市ホームページからもダウンロード可)に必要事項を記入の上、郵送・ファクシミリ・電子メールのいずれかの方法で申し込みください。

【申込期限】 7月16日(金)

◇登米市の未来新聞コンクール

未来の登米市の暮らしをテーマにした壁新聞を製作し、地域を愛する心を養うことを目的にコンクールを開催します。

【作品テーマ】 将来の自分たちが暮らす「こんなまち、いいな」と思える「一人一人が個性を伸ばし、自分らしさを発揮できる」登米市の未来をイメージしながら、下記の4つのキーワードの中からテーマを選び、壁新聞を作成してください。

【キーワード】 ①安全を守る地域活動 ②楽しさをつくりだす地域行事 ③元気を生む地域活動
④豊かさを実現する地域活動

【募集部門】 (1)小学生部門 市内小学校の5・6年生 (2)中学生部門 市内中学校の1～3年生 ※1団体10人程度

【発表・表彰】 部門ごとに最優秀賞1点、優秀賞1点、優良賞1点を決定し、平成23年2月開催予定の「男女共同参画フォーラム」で表彰します。

※作品の応募は学校単位となります。応募についての詳細については各学校に通知してあります。

【申し込み・問い合わせ】 講座・コンクール共通 企画部市民活動支援課

〒987-0511 登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1

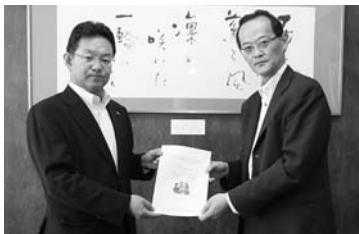
☎0220(22)2173 ☎0220(22)9164 ✉shiminkatsudo@city.tome.miyagi.jp

未来に向けて！登米市まちづくりプロジェクト

「中間支援組織検討委員会中間報告書」・「まちづくり基本条例策定委員会活動報告書」を市長に提出

【登米市中間支援組織検討委員会中間報告書】

中間支援組織とは、コミュニティ組織・ボランティア団体・NPOなど、さまざまな活動主体の連携・協働をつくり出す「つなぎ役」です。市では昨年検討委員会を立ち上げ、平成23年度の設立に向けて検討を重ねています。その検討委員会での成果を取りまとめた「中間報告書」が5月26日に市長に提出されました。



検討委員会の及川副委員長から市長へ

【登米市まちづくり基本条例策定委員会活動報告書】

住みやすい登米市のまちづくりの基本となる条例について考える、登米市まちづくり基本条例策定委員会の平成21年度の検討経過などを取りまとめた「活動報告書」が6月19日、市長に提出されました。今後も委員会では、平成24年の施行を目指し、基本条例の在り方について議論を行っていきます。



委員会を代表して伊藤副委員長が提出

※各報告書は、市ホームページ「協働のまちづくり」でご覧いただけます。